

暁高等学校 安全・危機管理

暁高等学校の安全・危機管理

学校をとりまく環境は、以前は父母や地域に見守られる安全な場所でしたが、近年特に、通常では予測できないような事故・事件や災害に遭遇することが多くなっています。本校はこのような事故や事件・災害に見舞われないように、生徒自身への指導も含めて細心の注意を払っていますが、それでも完全に防ぎきれるものではありません。問題は起きてしまった危機への対応（危機管理）と併せて、可能な限り、危機が起こる前に予見し、危機の回避を図る方策と体制（安全管理）を整えることです。

そうした安全管理・危機管理の基本的な視点に立って、生徒たちが安心して過ごせるスクールセキュリティを実施しています。

- 定期的な防災避難訓練の実施
- 恒常的な駅・通学路での登下校指導
- 生徒玄関の防犯カメラの設置と監視
- 不審者のチェックマニュアル作成及び警察署との連携
- S E C O M 管理による自動開閉扉（正門）
- 緊急地震速報端末の設置（初期微動で自動的に放送）
- A E D（自動体外式除細動器）を設置

防犯カメラ

24時間生徒玄関にて生徒の登下校の様子を見守っています。



緊急時の学校からの一斉連絡方法

- 緊急連絡網
- 携帯メール連絡システム
- T O P ページ「新着情報」（携帯電話からも閲覧可）

以下の内容は、[学園総合のWebサイト](#)『安全危機管理』でご案内しております。

- 気象に関する警報が発令された場合の登下校について
- 弾道ミサイル発射等によって「J アラート」が三重県に発信された場合について
- 交通ストライキ時の処置について